



レバるくしのまち鴻巣は裏面コラム しゅがーいすむ

# 基本理念は

# スイートな夏

炎暑の候、梅雨の湿気と夏本番を待てない高気温のいや～な協奏曲が体を苛む折に突き抜けるような清涼感と爽快感をもたらすものは…そうです、甘いものです！

写真は、高崎市の間屋町に居を構えます『Cafe Bar TIC-TOCK』というお店のスイーツとドリンクメニュー、『チョコミントパフェ』と『ここみん』です。…チョコミント、人によりかなり好みの別れるフレーバーなのでここで取り扱うのはもう少し場数を踏んでから…と思っていたのですが、私も初めてお目にかかる本格的なチョコミントのスイーツメニューにまんまと心を持っていかれてしまいました。嗚呼、このミントブルーの息吹が私を狂わせる…(至って正気です)。

さて件の『チョコミントパフェ』、チョコミントがパフェをやっているというだけでも大正義なのですが、内包されているチョコミントのアイス・クリーム・ゼリーでそれぞれ甘さや食感とミントの清涼感に絶妙な違いがあり、チョコミントに飢えた人間の心を満たしつつも基本的には同じフレーバーの連続なのに全体で単調にならない、例えるならラヴェルの『ボレロ』のような味わいがあります。夢中で食べ進めているといつの間にか無くなっているのでボレロほど長く楽しめないのは甚だ残念ですが…。とかく、味の主題はブレないままに多彩に変化する清涼感の奔流が最後まで楽しめる逸品でした。そしてドリンクメニューの『ここみん』、可愛らしい名前なこちらはチョコミントフレーバーのココアです。グラスのふちを彩る飾り砂糖にチョコソースとミントホイップ、そしてミルクとココアのグラデーションが、まるで肥沃な大地に輝く生命の奔流が集い渦巻くような、余りにも”映える”見た目のこのドリンク。そのお味は、ココアのヘヴィな甘さをミントの強い清涼感が精練させており、どっしりとした味わいなのにベタつかず喉を越した後に爽快感が残るという、そのパワフルかつスピリチュアルな景観に違わない奇跡のような二面性を体現する、余りにも完成度の高い一杯でした。

ここまでチョコミント一辺倒で褒め倒してきましたが、こちらのお店はランチメニューも充実しています。当日は丁度お昼時に入店したので一緒に明太子クリームパスタも注文したのですが、これが自分が今までの人生で食べてきた明太子クリームパスタで一番美味しい!! 比喻でなく!!!

なんだったら明太子クリームパスタ目当てでも行ってみたい

こちらのお店で、来る7月の暑さや湿気も

さて置ける、特別なひとときを

是非とも…!



黒沢 紫雲  
(くろさわ しゅん)

